

## すばる小委員会・すばる科学諮問懇談会 報告 (2018/4 から現在まで)

前回の天文学会年会以降、4/4, 5/2, 6/13 の3回すばる小委員会を、7/4, 8/3 の2回すばる科学諮問懇談会 (国立天文台の新執行部体制での委員会再編により「すばる科学諮問委員会」が9月に発足したが、その前の暫定懇談会) を開催した。

### ■ すばる近況

- ・この冬はマウナケアの天候が非常に悪く、3月は約70%の観測時間を失い、4月も約60%の観測時間を失った。
- ・ハワイ島で火山活動に伴う大きな地震が5/4にあり、2週間すばるの運用を休止した。5/18から共同利用を再開したが、その後も地震が頻発しているためTUE交換ができない状況が続いており、5月～9月のHSC観測はキャンセルされ、他のプログラムに変更された。
- ・ハリケーンLaneがハワイ島に近づき、8月22日～24日の共同利用はキャンセルされた。ヒロの山麓施設も8月23日、24日は閉鎖された。山頂では330mm程度の降雨があり、ドーム内に浸水の被害があった。

### ■ 国際共同運用

- ・すばるの大幅予算カットのため、国際共同運用パートナーの協議が引き続き鋭意行なわれている。
- ・この協議を進めるため、S19A公募から国際提案 (すばる/Keck/Gemini コミュニティ以外のPIからの提案) の採択は夜数ベースで最大5%とした。
- ・中国の研究者がすばると連携するための資金 (年間4000万-5000万×4年間) を獲得した。これを機にEAOの形態でパートナーシップを開始することになったことがハワイ観測所から報告された。間もなく中国およびEAOとMOUが結ばれることになっている。これについてすばる科学諮問懇談会で議論を行った結果、ハワイ観測所がすばるコミュニティーへ説明会を行うことになり、9/10に三鷹で開催された (光赤天連シンポ開始日の午前) 。
- ・国際共同運用促進のため、すばる国際ワークショップ補助プログラムが引き続き募集され採択されている。すばる-EAOワークショップが2019/1/16-18に韓国のKASIで開催される。
- ・現在インドおよびカナダとも協議が進行している。

## ■ IRD-SSP 審査

IRD-SSP の公募に 1 件の応募があり、有識者コメントに基づく SAC での一次審査、TAC での二次審査、科学諮問懇談会での審査を行った。9/28 の正式なすばる科学諮問委員会で最終決定が行われる予定である。

## ■ すばる科学諮問委員会、委員

(任期：2018 年 9 月 1 日～2020 年 8 月 31 日)

秋山正幸	東北大学	Ex-officio (TAC 委員長)
生駒大洋	東京大学	新規
川端弘治	広島大学	新規
小谷隆行	自然科学研究機構 ABC	新規
栗田光樹夫	京都大学	新規
児玉忠恭	東北大学	継続
田中雅臣	東北大学	継続
土居 守	東京大学	継続
濤崎智佳	上越教育大学	新規
長尾 透	愛媛大学	継続
西山正吾	宮城教育大学	継続
松下恭子	東京理科大学	継続
松田有一	国立天文台 ALMA	新規
宮崎 聡	国立天文台 ATC	新規
安田直樹	東京大学 Kavli-IPMU	継続
山村一誠	JAXA/ISAS	継続

Observers：吉田道利（所長）、大橋永芳、能丸淳一（副所長）、神戸栄治（運用部門長）、柏川伸成（すばる室長）、青木和光（ハワイ観測所三鷹）、David Sanders (Univ. of Hawaii)

#ハワイ観測所スタッフは委員になれなくなった。

## ■ その他

- ・今年度のすばる UM は 2019 年 1 月 28 日～30 日に国立天文台三鷹で行う。
- ・HSC SSP の 2 回目の public data release (PDR) を予定より 3 か月遅れの 2019 年 5 月に行うことを承認した。
- ・すばる 20 周年記念行事の検討をするため、SAC 委員や広報室担当者などからなる WG（青木和光氏代表）を作り検討を開始した。一般向け講演会を地方で複数開催することなどを検討中。

- ・岡山 TAC（せいめい小委員会）委員（任期：2018 年 10 月 1 日～2019 年 3 月 31 日）を承認した（すばる科学諮問委員会の下に設置）。佐藤文衛、野上大作、松永典之、峰崎岳夫、渡邊誠、神戸栄治の各氏。
- 
-